

見る眼・聴く耳、現場主義。

高橋かずちか/高橋一実

都政

に新風。新鮮力

活動報告

次世代に責任、未来に挑戦!

かずちか通信の発行で、私を知ってもらい、皆様との情報交換の場 = 仲間づくりを目指します



高橋かずちかプロフィール

現在

自由民主党東京都中野第四支部長
同東京都支部連合会政策審議委員
日本自治体危機管理学会委員
明治大学公共政策大学院
ガバナンス研究科/修士課程 在学中

略歴

1960年(535年)中野区に高橋一郎
(元衆議院議員)長男として生まれる
宝仙学園幼稚園・小学校卒業
学習院大学法学部法学科卒業
清水建設株式会社(15年間勤務)
衆議院議員・国土交通副大臣秘書

2005年東京都議会議員選挙初挑戦
14,287票獲得するも惜敗次点
現在捲土重来を期し、奮闘中。

その他

- 宝仙学園小学校卒業生の会会長
- 宅地建物取引主任者
- 薬物乱用防止講習会教育講師
- キャンプインストラクター/日本キャンプ協会
座右の銘
- 之を修して自ら知れ(興教大師)
趣味
- スキー、キャンプ、ウォーキング、舞台映画
鑑賞
- 家族
- 妻:広島県呉市出身
- 長男:1999年、長女:2000年生まれ

サポートのお願い!!

- 私の政治活動を支えていただくために個人献金や切手等のご寄附のご協力をお願いしております。
- 現職議員でない私にとりましては、皆様方からの個人献金、ご支援が活動の源です。ご連絡頂きましたら、申込書をお送り致します。
- 皆様方のご理解ご協力を心よりお願い申し上げます。

メッセージ

たとえ、どのような嵐が吹きすさぶ激しい世の中の変動にあっても、自分自身が元気に楽しみながら、人に優しく明るい、夢と希望ある政治をすすめていきたい。それには自分自身がまずそう心がけ、何よりしっかりとした「不動の信念」を持ち行動する事が大切だ。

国民不在。機能不全。といってもいい現在の政治状況。かつて未来を語り、国民の一步先を機関車のごとく突き進みながら夢と希望を発信していた政治が、どんどん国民から見放されている。私は政治とその既成概念を変える必要性を痛感する。説明責任を果たしながら納税者の目線で政策主導を実現することが重要だ。

国民は「真の変化」を求めていると思う。 2008年 高橋かずちか 拝

『高橋かずちかフォーラム』のご案内

日時:3月30日(日) 14:00より 場所:中野サンプラザ13階(当日参加も歓迎)

会費:1,000円(資料・お茶代。飲食等はございません。ご了承ください。)

テーマ:本当のユニバーサルデザインとは(バリアフリーを超えて)

~2016年オリンピック東京招致の実現に向けて、東京の次世代型まちづくり

段差のない「まちづくり」を提案する。

特別講師:山崎泰広氏 (株)アクセスインターナショナル代表

*準備の都合上、恐縮ですがご参加される方は、メール又はファックスにてご連絡ください。

「本当の意味での(使える)ユニバーサルデザイン」という視点がいかに重要で有益か、実例に基づいた目からウロコの話に驚かされるはず。

「高齢になってきたら、出歩くのがたいへんになってきた。」「足が不自由な家族と(車いすで)一緒にまちに出かけると不便を感じる。」「車いすでもできる限り介助を受けずに自由に出かけたいが、受入れ態勢がない。」「ベビーカーを押していて、段差や道の悪さで、歩きにくく不便でしょうがない。」「仕事上キャスターバッグを持つての移動が多いが、歩きにくく移動に不便。」という声をよく耳にします。

キーワードは、誰にでも優しいまち、安全で住みやすいまち、魅力あるまち、活気・賑わいのある出かけたくなるまち、住みつづけたい便利なまち。

いずれもこれからの少子高齢化社会に向けて、発展する都市の必須条件です。

今回は、特別講師として私の友人であり、東京都、静岡県、岩手県、佐賀県等で街づくりによる改革を進めている山崎氏をお招きしました。世代を超えたすべての方に快適なまち = 賑わい・活力の生まれるまち、について語りしたいと思います。

ご多忙のことと存じますが、万障お繰り合わせのうえ、是非一人でも多くご参加下さい。

かずちかフォーラム 開催のご案内



- 山崎泰広氏/1979年米国留学中事故により下半身麻痺、車いす使用者となる。
- 1992年バルセロナパラリンピック100m平泳ぎ6位入賞。
- 日本初の身障者のためのスポーツ情報雑誌「アクティブジャパン」の初代編集長。
- 東京都スポーツ振興審議会委員、ユニバーサル技能五輪国際大会ユニバーサル監修専門プロデューサー、東京地方労働審議会委員など様々な委員を歴任。
- 2016年オリンピック東京招致にむけて審議会委員として東京の再開発を目指している。障害者と高齢者の自立支援を目指して、コンサルティングとセミナーを全国で展開すると共に、ユニバーサルデザインの考えの基にリフォームから街づくりまで様々なコンサルティングを行っている。

「高橋かずちかダイレクト・トーク」(地域ミニ集会)等その他 勉強会・イベント 次々企画中です。是非、ご参加を

かずちかブログ <http://www.kazuchika.jp>
かずちかメール: gambaru@kazuchika.jp

高橋かずちか事務所

東京都中野区本町2-29-5 / 〒164-0012

TEL.03-3373-0123/FAX.03-3373-0125

自由民主党東京都中野区第四支部長

高橋かずちか 特集号

自由民主

LIBERAL & DEMOCRATIC



発行所：自由民主党本部
東京都千代田区永田町 1-11-23
電話 東京 03(3581)6211
振替口座 東京 00180-1-19518
定価 1部 105円(税込み)
<毎週火曜日発行>

自由民主党ホームページ URL <http://www.iimin.jp/>

高橋かずちか(高橋一実)さん



目指す政治の姿

- 身近な政治
- 見る眼・聴く耳、現場第一主義
- 税金1円の意識
- 納税者の目線
- 次世代に夢と希望を
- 透明性・説明責任

高橋かずちか 拝

拝啓 皆様には益々お元気に
てお過ごしのことと存じます。
平素は『身近な政治』をテ
ーマに都政改革を目指します
私の活動にご理解賜り心から
感謝御礼申し上げます。

大震災に備えた都市防災戦
略／首都直下地震に対する中
野区の減災対策について

近い将来発生するといわれ
ている地震災害の被害を最
小に抑えるべく、減災を目標
としていく事は政治の最重要課
題であり究極のまちづくり
だ。特に木造密集住宅やオ
フイスビルそして人口が密集
し、また道路や空地などの都
市基盤の整備が防災上脆弱で
ある大都市部における災害を
最小限に食い止める処方箋は
何か、そこに暮らした生活
する住民は何をすべきか、行
政はどのように取り組むべき
なのかを首都直下型地震を想
定した防災・減災まちづくり、
首都東京の都市政策の観点か
ら今後考えていきたい。

かずちかレポート

大震災に備えた都市防災戦略

～首都直下地震に対する中野区の減災対策について～

減災政策を考えていく際に、中野区の住民が、地震災害に直面したときに深刻な事態を引き起こす現状をあまり把握しておらず、また地震災害に対する関心が希薄なのではあるか？いや、私はそうは思わない。実は、関心もあり現状も把握しているが、対策を講じようにもコストと時間がかかるため具体的なアクションに繋がらず、現状把握・危険の認識・対策という一連の流れに結びつかないのではないかと。

近い将来間違いなく起こるであろう地震に対して、あまりにも無防備であるという都市政策上の現状を変え、自分の住んでいる街や職場また活動エリアである当該地の危険性を把握し次の行動に移せる環境を整備する事が肝要である。いたずらに住民の不安心理を煽るのは好ましくないことは言うまでもない。その上で、自分がどう注意し、何が出来るのか、行政(中野区・東京都そして国)に何を求めるのかを考えるべき時期であるし、今すぐ実践しなければならないことであると考え。

その処方箋は、まちづくりである。私たちが住むまちには、大きな可能性がある。ビルが建つ、駅が出来る、道路が広がる、駅前再開発がある、商店街が生まれ変わる、そうしたまちづくりに、身近な生活に密着した視点と発想で、震災に備えたまちづくりを訴えるのである。

まちづくりのキーワードは「水と緑」「快適性」「高密度(コンパクトシティ)」「情報化」「環境」などである。こうした美しさや楽しみの発想をまちづくりに取り入れ、都市に賑わい魅力を作り出す。そこに「防災環境軸」「公園」「道路」といった身近な震災対応の都市基盤をはめ込んでいくのである。近所の身近な公園や街並みからはじめるのだ。

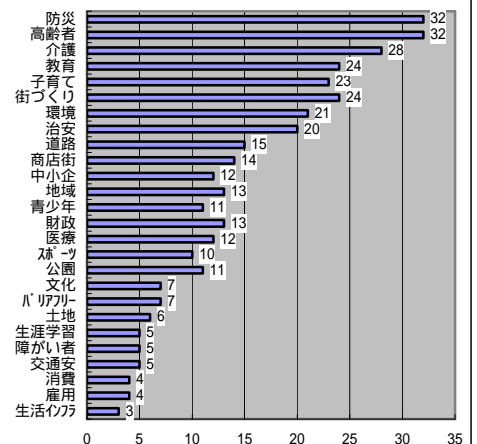
安全安心を念頭においた、世代・性別を超え、職業立場を超えて、そこに住み続けたい人の目線であったり、たまたま住んでいるだけの人の目線であったり、多くの人の声が反映されたまちが、利用され愛され活気のあるまちとなる。その実現の為に、震災に備えたまちづくりは有効である。

莫大なコストは、国や都や自治体が負担するしかない。市民の生命に関わる事だし、活力に繋がれば大きな税収に繋がると信じて。当然、政治も行政も、住民を啓蒙し参加させ引っ張っていく情熱と強力なリーダーシップが求められる。都市の魅力作りと安全が一挙に手に入れられるのだから、喜んで全力投球すべきである。

首都直下地震・都市の減災対策/木造密集対策等中野区の弱点を政治が改善すべき

今後、国・都・中野の防災戦略、中野区の問題点、中野区の処方箋についてレポートしていきます。

出席者の関心テーマ(5つ選択、計361件中/参考)



2007.12 フォーラム出席者に対する質問



高橋かずちかの決意。

2005年7月の東京都議選に惜敗の後、初心貫徹、捲土重来を胸に皆様方に各地でご叱正やお励ましを頂き、1万4287票というかけがえのない応援と期待に感謝をしながら、次回念願成就する事こそがご恩返し、又政策遂行できる唯一の道と覚悟して日夜活動中です。

この『かずちか通信』『自由民主』は、政治の問題は勿論ですが、それ以外にも、私からの発信によって、ありのままの「高橋かずちか」をわかって頂き、安全・安心、魅力あふれる街づくりの実現に向けて情報を共有できるネットワーク作りにも発展できればと願っております。今後とも何卒宜しくお願い申し上げます

『安全・安心、活力と魅力あふれる、夢と希望のまちづくり』～ご意見是非お寄せください。それが私のエネルギーです！

かずちかブログ <http://www.kazuchika.jp>
かずちかメール: gambaru@kazuchika.jp

自由民主党東京都中野区第四支部
東京都中野区本町2-29-5 / 〒164-0012
TEL.03-3373-0123/FAX.03-3373-0125

